

経営改善普及事業取組事例

会議所名: 亀山商工会議所

指導員名: 宮崎博功

【企業概要】

組織形態: 株式会社、資本金: 3,000千円、業種: 交通運輸業、従業員数: 7名、支援テーマ・内容: [経営向上] インバウンド対応可能なハイブリッド型運送事業の展開

【支援に至った背景~経緯】

起業後間もない創業期の同社に限らず、典型的な設備投資産業である交通運輸業においては、資金調達の経営支援ニーズがあり、特にここ数年は増車等の相談を受け、各種貸付制度を案内した。

【支援の経過】

- 平26年10月 第二創業後のフォローアップ (経営課題の整理)
- 平27年1月 初期における公的融資の活用
- 平28年12月 追加投資にて制度融資の積極活用
- 平29年4月 今後の経営向上のための戦略の方向性の確認
- 同年8月 三重県版経営向上計画の申請、同計画認定

【支援のポイント】

○経営課題の整理

- ・創業期の課題: 事業継続 (売上の安定確保・資金繰り)
- ・成長期の課題: 差別化 受注ニーズの多様化への対応・稼働率UPへ (受注の通年化対策: プロモーション)

○支援のポイント

起業支援では、創業時に加え、数年後の事業継続と次なる事業展開のためのフォローアップ等の伴奏型支援がポイント。

【支援の効果・成果】

○まずは、創業前・後やフォローアップ時の追加投資での設備資金のように、中・長期間に渡る大きな借入の場合、低利で固定金利の方が得策なため、制度融資の活用を促進した結果、円滑な資金調達に資することとなった。

○次に、多様な工業集積に加え、高速道路のJCT・ICや、亀山駅がJR東海・西日本の各路線の結節点となっているなど、陸上交通の要所という亀山市の立地上の利点を生かし、創業から成長期への移行期にあたり、周辺事業を営むグループ企業等と連携し、これまでのBtoB取引中心の受注に加え、今後新たにBtoC取引を獲得するべく、設備投資も含む中期的な経営計画の策定に着手するよう提案し、プロラッシュアップした結果、三重県より経営向上計画ヒップⅡの認定を受けた。その際、策定した事業計画を実行に移し、グループ企業との協業シナジー(相乗効果)を創出するため、各種支援制度等を積極活用するなど、ハンズオン支援を行った。

・経営計画の作成

- ①3C(顧客・競争・自社)分析
- ②SWOT(強み・弱み・機会・脅威)の分析
- ③上記を踏まえ、SO戦略にて経営計画の作成

この取り組みによって、自社の強み・経営課題等について、代表者と後継者等が全社的に再認識でき、今後の差別化戦略を明確化することができた。

【支援策企業の声】

- ・経営指導員のアドバイスで、思い描いた通りの計画が策定できた。
- ・今後も利用できる制度等があれば、積極的に活用したい。